

備前市事務事業評価表

事務事業名	小学校統廃合検討事業	コード	03-01-02-14
		担当課・係	学校教育課
		担当者	三村 実
事業実施期間	平成18年度～平成19年度	電話	64-1840
総合計画 事業（政策）体系	大項目(基本目標)	地域文化と人が輝くまちづくり	
	中項目(基本施策)	未来を支える人材を育むまちづくり	
	小項目(施策)	学校の統廃合の検討	

事業について	
目的 (何のために)	大多府小学校の児童を対象とした教育の質の向上を図るために、大多府小学校の閉校を検討し、さらに充実した教育の提供を図る。
対象 (誰・何を対象に)	今後入学予定者のいない備前市立大多府小学校の児童や大多府島の地域の住民
内容	今後児童増が見込めない大多府小学校の児童の今後の教育の質の向上を図り、よりよい教育を提供できる環境を提示するとともに、大多府小学校を閉校することについて理解を得る。

事業の結果			
実施項目	17年度 回数など (単位)	18年度 回数など (単位)	回数など (単位)
地区懇談会等			
事業費 (単位：千円)	事業費 直接事業費 人件費 合計	財源 国庫補助金等 委託費負担 市債 一般財源等	事業費 直接事業費 人件費 合計
	0	0	540

必要人員	0.05人
結果指標	地区懇談会等実施回数
結果指標	4回
対前年比	0.00%
活動にかかるコスト	540,000円
単位当たりコスト	135,000円

事業の成果	
どのような成果を得ようとしているか	大多府小学校の平成19年度末をもって閉校とすることについて、保護者や地域住民の理解を得る。
成果指標名	式又は説明
	理解を得る努力を必要とすることであり、式にまとめることはふさわしくない。
成果指標量	17年度
対前年比	—
到達目標値	到達目標年度

事業の目的、対象、内容を考えながら目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成18年度事業)
目的・対象・内容の妥当性評価	<input type="checkbox"/> 関係法令等で目的が定められており妥当である <input checked="" type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化しつつある <input type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である (関係法令等： <input type="checkbox"/>)	妥当性評価<A~E> A 課題認識
コストの効率化	<input type="checkbox"/> 受益者の拡大を検討する余地がある <input type="checkbox"/> 受益者の縮小を検討する余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 現在の対象者は妥当である	効率性評価<A~E> B 課題認識
手段の最適化	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	平成19年度末で大多府小学校が閉校となり、在学している児童の保護者に対して、教育の質の向上を図るために、他の学校への転校を提案し、理解を得られるよう努力した。また、島の文化の中心的存在である小学校の閉校について、地域住民に対しても説明し、理解を得る努力をした。
市民二一ズの妥当性	<input type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請のある事業である <input type="checkbox"/> 市民に概ね好評な事業である <input checked="" type="checkbox"/> 公共秩序の維持、行政の適正運営に必要な事業である	
職場の効率化	<input type="checkbox"/> 国・県又は関係法令で定められている事業である <input type="checkbox"/> 民間に類似サービスがある <input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与すべき事業である <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の影響は大である	この課題については、効率性の評価はそぐわない。保護者や地域の住民にどのように理解を得るかが、大切なことである。
目的達成度	<input type="checkbox"/> 単位当たりコストは増加傾向にある <input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしている <input type="checkbox"/> できる限り民間活力を利用している <input type="checkbox"/> 受益者負担額は適正である	有効性評価<A~E> A 課題認識
成果向上の可能性	<input type="checkbox"/> 最善な手段を求めて職場内で確認・見直しを行っている <input type="checkbox"/> 他に有効な代替手段が見当たらない <input checked="" type="checkbox"/> 事業は他部署と密接な連絡調整を行っている	保護者や地域住民に対する説明会等を重ね、理解を得る努力をしてきた。保護者や地域の方々意見を十分に聞いている。
市民参画度	<input type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている <input type="checkbox"/> 事業に関するOJT（職場研修）は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業の進行管理を定期的に行っている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について職員の意見・要望が反映されやすい	
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	
市民参画度	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	

平成19年度の状況	<input type="checkbox"/> 重点化している <input checked="" type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している <input type="checkbox"/> 見直し継続している <input type="checkbox"/> 事業を縮小している	<input type="checkbox"/> 休止している <input type="checkbox"/> 他の事業と統合している <input checked="" type="checkbox"/> 平成18年度で廃止・完了	説明 平成19年度末をもって閉校する小学校の事務手続き等が必要である。また、今年度中に、学校再編整備検討事業を立ち上げる予定である。
-----------	---	---	---

目標値	結果指標量	結果指標量

総合評価	特別な事業費を準備せず、担当者が足を運んで、保護者や地域の方々の理解を得る努力をしたので、事業は予定どおり進んだ。	評価区分 <A~E> A
------	---	--------------------

平成20年度以降の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する) <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する <input type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する <input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する <input checked="" type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了 <input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
--------------	--	---

平成20年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果